令和6年10月21日

地域における旅客輸送需要及び連携の可能性について

全国ハイヤー・タクシー連合会

1. タクシー事業における繁忙期と閑散期について、大都市部、地方都市部、地方部、観光地に分類し、地域ごとに整理

○大都市部

繁忙期 朝夕の通勤時間帯（7時-9時、17時-19時） 繁華街では、休日前の夜間等

夏季の猛暑日、冬季の真冬日、ゲリラ雷雨など

閑散期 土・日・祝日、GW、盆、年末年始（御用納め～御用始め）

○地方都市部

繁忙期 午前の通院時間帯（7時-10時）、朝夕のビジネス利用（7時-10時、16時-19時） 繁華街では、休日前の夜間等

夏季の猛暑日、冬季の真冬日、ゲリラ雷雨など

閑散期 昼間時間帯

土・日・祝日、盆、年末年始（御用納め～御用始め）

○地方部

繁忙期 午前の通院時間帯（7時-10時）

夏季の猛暑日、冬季の真冬日、ゲリラ雷雨など

閑散期 昼間時間帯

土・日・祝日、盆、年末年始（御用納め～御用始め）

○観光地

繁忙期 観光シーズン、土・日・祝日、GW、盆、年末年始

夏季の猛暑日、冬季の真冬日、ゲリラ雷雨など

閑散期 オフシーズン

2. 地域ごとのドライバーシェアの可能性

○全地域において、日本版ライドシェア、公共ライドシェアへのドライバーシェアの可能性あり。（トラックなど→タクシー）

○大都市部（タクシー→トラックなど）

閑散期である土・日・祝日、GW、盆、年末年始について、ドライバーシェアの可能性あり。

○地方都市部（タクシー→トラックなど）

閑散期である土・日・祝日、盆、年末年始について、ドライバーシェアの可能性あり。

昼間時間帯に一時的（例えば11時-16時の間）にタクシーからトラックなどへ乗り換えるドライバーシェアの可能性あり。

○地方部（タクシー→トラックなど）

閑散期である土・日・祝日、盆、年末年始について、ドライバーシェアの可能性あり。

昼間時間帯に一時的（例えば11時-16時の間）にタクシーからトラックなどへ乗り換えるドライバーシェアの可能性あり。

○観光地（タクシー→トラックなど）

地域のオフシーズンに長期的にドライバーシェアの可能性あり。

3. 地域ごとドライバーシェアの課題

○ドライバーシェアについては、車の乗り替わりをしないケースが現実的であることを明確にしておくべきではないか。

○「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」に抵触しないか。

○労働時間については、安全を担保する上でドライバーの主たる使用者だけでなく、従たる使用者側も管理する必要があるのではないか。

○貨物輸送における業務委託のドライバーについては個人事業主のため、労働時間等の規制は受けないものと考えているが、旅客の安全のためには、労働時間の管理等は必要不可欠であり、誰が労働時間を管理するのか明確にしておく必要があるのではないか。

○貨物ドライバーによる旅客輸送に関しては、日本版ライドシェアのようにタクシー会社が運行管理等を含め運行責任を担う必要があるのではないか。

○会社として経済的な利益があるか。

○タクシードライバーが貨物輸送を行う場合、閑散期とは言え歩合給に見合うだけの経済的メリットがドライバーにあるか。

4. その他（旅客輸送同士のドライバーシェア）

○同一グループ内でのドライバーシェア

具体例

- ・ 外国語対応が可能なドライバーを同一グループ内他社からシェアする。
- ・ 故障等でタクシーに乗務できないドライバーを同一グループ内他社へシェアする。
- ・ 国際会議等の際に同一グループ内のタクシー会社からハイヤー会社へドライバーをシェアする。